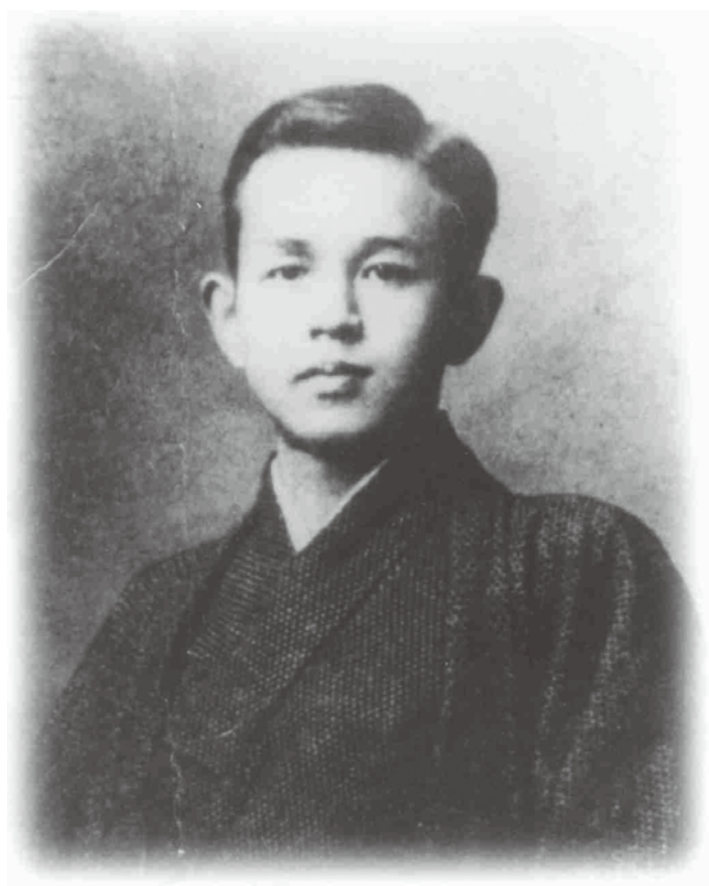


第10回全国高校生短歌大会

# 短歌甲子園2015

参加校募集要項



開催地：  
岩手県盛岡市

日程：  
平成27年  
8月19<sup>水</sup>日~21<sup>金</sup>日

■問合せ先・予選参加申込み先

〒020-8530 盛岡市内丸12-2 全国高校生短歌大会実行委員会事務局(盛岡市商工観光部観光課内)  
電話:019-613-8391 ファクシミリ:019-604-1717

E-mail:kankou@city.morioka.iwate.jp URL:<http://www.city.morioka.iwate.jp/sangyo/brand/12208/>



岩手県 盛岡市



もりおか暮らし物語  
MORIOKA BRAND

## 概要

### [開催趣旨]

近代短歌に新しい世界を切り開いた青春の歌人、石川啄木を顕彰するとともに、啄木が生まれ育った盛岡市にふさわしい、若い世代の短歌づくりを振興するため、全国の高校生を対象とした短歌大会を開催します。

### [開催日程と会場]

開催日：平成 27 年 8 月 19 日(水)～21 日(金)

会場：姫神ホール(盛岡市玉山区渋民)

盛岡劇場(盛岡市松尾町)

### [特別審査員]

歌人・小島ゆかり氏(コスモス短歌会)

全国大会の審査及び全体講評を担当するほか、特別審査員賞の選考を行います。

### [審査員]

全国大会審査員は、歌人及び歌人以外の有識者として、人選は運営委員会が行い、全国大会出場校決定時に発表します。

## 団体戦

1 チームは選手 3 人で構成され、原則 1 校 1 チームが全国大会に出場できます。(郵送による予選エントリーは 1 校 2 チームまで可とし、出場申込校が予定数に満たない場合、予選の結果により 2 チームが全国大会出場可となる場合もあります。)

昨年度の優勝校・準優勝校については、各校 1 チームについて予選を免除し出場を認めます。

補欠選手は 1 チーム 1 名の登録を認め、選手が体調不良や事故などにより出場できなくなった場合にのみ、大会事務局の承認を得て代理出場させることができます。補欠選手は、選手の行う題詠ツアーには参加できません。(引率者ツアーに同行します。)

### [予選]

- ◎予選は郵送または電子メールにより提出された文書で行われます。
- ◎同封の投稿用紙に各選手の 3 行書きの未発表自作短歌を 1 人 1 首、各校合計 3 首を記入して下さい。
- ◎題は自由です。ただし、全て選手自作の作品で、選手以外の者が補作・添削をしてはいけません。
- ◎審査は主催者が委嘱した審査員が行い、1 校 3 首の総合点で上位となった学校が全国大会に出場できます。
- ◎全国大会に出場できるのは、昨年度の優勝・準優勝校のチームを含む 36 チームとなります。

◎審査結果は 7 月上旬をめどに、主催者から各校に通知します。

◎予選作品 3 首は、指定の投稿用紙に記入の上、参加申込票とともに、郵便または電子メールで大会事務局宛にお送り下さい。

**[締め切り]**平成 27 年 6 月 11 日(木)(消印有効)

\*参加申込票と投稿用紙は盛岡市公式ホームページからダウンロードすることもできます。

[URL]<http://www.city.morioka.iwate.jp/sangyo/brand/12208/>

◎予選作品 3 首送付後の選手交代は認めません。(補欠選手についても同様とします。)

◎電子メールの際はファイル名に都道府県名と学校名を加えていただくようお願いします。

### [1次リーグ]

◎3 つの題について、指定された啄木ゆかりの地で時間内に題詠を行います。

◎歌の形式は 3 行書きとし、必ず示された題の言葉そのものを歌に読み込まなければなりません。漢字一文字の題が提示された場合、題の文字は辞書に掲載されている読み方、辞書に掲載されている熟語の一部として使用することができます。

◎作品は全て題が与えられてから詠んだものを投稿してください。

◎制限時間内で選手同士が相談することは構いませんが、顧問・引率者・補欠選手は作成場所に立ち入ることはできません。

◎題詠の際には、題詠カードと筆記用具のみを携帯することとし、その他の持ち物(歌作集・辞書・ノートパソコン・携帯電話など)の使用は禁じます。辞書は大会事務局が用意したものを使用してください。

◎作品は、制限時間内に投稿していただきます。

◎競技は、36 チームが 3 チームずつのブロックに分かれ、リーグ戦で行われます。

◎ステージ上で 2 チームによる競技と、競技ごとの審査が行われ、各ブロック 1 位のチームが決勝トーナメントに進むことができます。

### [決勝トーナメント]

◎トーナメントごとに各チーム各選手が 1 首ずつ題詠を行い、ステージ上で競技を行います。

## 個人戦

個人戦に参加できるのは、団体戦の予選を通過し、全国大会に出場するチームの選手のみ（補欠選手を含む）とします。

### 【題詠】

◎全国大会2日目の冒頭に2つの題が発表され、その場で題詠を行います。作品は制限時間内に投稿していただきます。

### 【審査】

- ◎題ごとに審査員が審査を行います。同時に全作品が大会会場内に掲示され、一般観覧者を含めた大会関係者が、優秀と思われる歌に自由に投票します。
- ◎審査員による審査と、一般投票の結果を総合し、個人戦決勝戦に進出する選手を発表します。

## 参加費用について

### 【参加料】

無料とします。

### 【宿泊費・食費・交通費】

(1) 宿泊費・食費

#### 【選手3名と引率者の費用】

◎宿泊を必要とする参加校

1校につき2万円の宿泊負担金をお支払いください。（2万円を超える費用は主催者が負担します。）

宿泊負担金に含まれる内容は、1校につき4名以内（選手3名と引率者1名）分の、宿泊（2泊分以内。）と食事（昼食各2回、交流会費）にかかる費用です。

◎宿泊を必要としない参加校

費用負担はありません。

1校につき4名以内（選手3名と引率者1名）分の食事（昼食2回、交流会費）にかかる費用については、主催者が負担します。

#### 【補欠選手または1名を超える引率者の費用】

宿泊、食事にかかる費用の全額が参加者の負担になります。大会中の選手、引率者と同様の宿泊（11,000円）、食事（4,000円）を希望する場合には、大会事務局が手配します。

宿泊は、つなぎ温泉の宿泊施設を予定しています。（他校との相部屋になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。）

(2) 交通費

◎交通費は全て参加者の負担となります。

## 会期中のスケジュール（予定）

- 8月19日(水) 会場：姫神ホール  
12:45 盛岡駅集合  
14:00～15:00 開会式／団体戦組合せ抽選会  
15:00～19:00 題詠ツアー（石川啄木ゆかりの地を巡ります。）  
団体戦題詠投稿
- 8月20日(木) 会場：盛岡劇場  
9:00～9:50 個人戦題詠投稿  
10:00～17:00 団体戦1次リーグ  
18:00～20:00 交流会
- 8月21日(金) 会場：盛岡劇場  
9:00～15:00 団体戦決勝トーナメント  
個人戦決勝戦  
15:00～16:00 閉会式／表彰式

## 注意事項

- ◎本大会で作られた短歌作品についての著作権は、主催者に帰属します。転載等を希望する際には、主催者の許可を得る必要があります。ただし、作者個人や各学校などの作品集やホームページ・ブログなどへの転載については、本大会で作られた作品である旨を明記の上、掲載することを認めます。
- ◎本大会で作られた短歌作品の、他の公募型コンクールへの応募を禁じます。
- ◎本大会への応募作品は、新聞紙上やホームページ等で公開する事があります。

## 主催・共催・後援（予定）

### 【主催】

全国高校生短歌大会実行委員会

### 【共催（予定）】

岩手県高等学校文化連盟／岩手日報社

### 【後援（予定）】

公益社団法人全国高等学校文化連盟／盛岡広域振興局／岩手県教育委員会／一般社団法人岩手県芸術文化協会／公益社団法人岩手県文化振興事業団／公益財団法人盛岡市文化振興事業団／岩手県歌人クラブ／NHK盛岡放送局／IBC岩手放送／テレビ岩手／めんこいテレビ／岩手朝日テレビ／岩手ケーブルテレビジョン／朝日新聞盛岡総局／毎日新聞盛岡支局／読売新聞盛岡支局／日本経済新聞社盛岡支局／産経新聞盛岡支局／共同通信社盛岡支局／時事通信社盛岡支局／デーリー東北新聞社／岩手日日新聞社／河北新報社盛岡総局／盛岡タイムス社／エフエム岩手／ラヂオもりおか／マ・シェリ／月刊アキュート／情報誌游悠

## これまでの短歌甲子園の受賞校・受賞者

区分	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	
団体戦	優勝	【岩手】 盛岡第三高校	【宮城】 宮城県 第一女子高校 チーム係り結び	【富山】 魚津高校	【福井】 武生高校	【茨城】 下館第一高校	【岩手】 盛岡第三高校	【宮城】 小牛田農林高校	【北海道】 旭川商業高校	【神奈川】 横浜翠嵐高校
	準優勝	【岩手】 宮城県 第一女子高校	【茨城】 下館第一高校	【愛媛】 伊予高校	【静岡】 加藤学園 暁秀高校	【秋田】 秋田高校	【宮城】 仙台白百合 学園高校	【宮城】 宮城第一高校	【秋田】 秋田高校	【福島】 会津若松 ザベリオ学園高校
	第三位	【福島】 葵高校	【岩手】 花巻南高校 花南・紅	【埼玉】 星野高校	【岩手】 盛岡第二高校	【福井】 武生高校	【茨城】 下館第一高校	【茨城】 竹園高校	【宮城】 気仙沼高校	【北海道】 市立函館高校
		【岩手】 盛岡第二高校	【宮城】 宮城県 第一女子高校 チーム体言止め	【岩手】 盛岡第一高校	【山形】 酒田東高校	【埼玉】 大宮開成 中学高校	【秋田】 秋田高校	【岩手】 水沢商業高校	【宮城】 小牛田農林高校	【福島】 東日本国際大学 附属昌平高校
	特別審査員	【北海道】 旭川商業高校	【茨城】 水戸葵陵高校	【茨城】 下館第一高校 館チーム	【青森】 八戸西高校	【秋田】 能代高校	【福島】 郡山女子大 附属高校	【埼玉】 大宮開成 中学校高校	【山梨】 甲府南高校	【北海道】 旭川商業高校
	話題賞	【宮城】 名取北高校 剛とゆかいな 仲間たちチーム	【岩手】 盛岡第四高校	【宮城】 小牛田農林高校	【茨城】 下館第一高校	【静岡】 加藤学園 暁秀高校	【山梨】 甲府南高校	【茨城】 結城第二高校	【岩手】 盛岡第一高校	【茨城】 下妻第一高校
個人戦	最優秀 作品賞	【岩手】 盛岡第二高校 嘉村あゆみ	【岩手】 盛岡第一高校 戸館大朗	【秋田】 秋田高校 清野絵理	【宮城】 気仙沼高校 遠藤万智子	【茨城】 下館第一高校 増淵絵理	【山梨】 甲府南高校 内藤 瑛紀	【福島】 葵高校 菅家 美樹	【秋田】 秋田高校 松岡 美紗	【北海道】 旭川商業高校 細木 楓
	優秀 作品賞	【岩手】 盛岡第四高校 小平あすみ	【岩手】 盛岡第四高校 平田朋美	【茨城】 下館第一高校 上形智香	【岩手】 盛岡第三高校 澤口航輝	【茨城】 下館第一高校 島田瞳	【宮城】 気仙沼高校 今野 莉奈	【福岡】 筑紫丘高校 薄田 真歩	【岩手】 盛岡第一高校 遠藤 純矢	【神奈川】 横浜翠嵐高校 西村 優紀
		【宮城】 宮城県 第一女子高校 小濱遙香	【岩手】 盛岡第三高校 岩井紗智							
	優良賞	【岩手】 黒沢尻北高校 菅沼都萌	【福岡】 八女高校 中野桃子	【福島】 葵高校 佐藤萌美	【茨城】 下館第一高校 島田瞳	【宮城】 気仙沼高校 山内夏帆	【茨城】 下館第一高校 山内 佳織	【福岡】 福岡雙葉高校 松成 美里	【岐阜】 飛騨神岡高校 川上 まなみ	
		【茨城】 下館第一高校 藤貫知美	【宮城】 仙台 白百合学園高校 遊佐有紀子	【愛媛】 伊予高校 鈴木仁美	【静岡】 加藤学園 暁秀高校 藤井美咲	【静岡】 加藤学園 暁秀高校 中村玖見		【岐阜】 飛騨神岡高校 川上 まなみ	【茨城】 並木中等 教育学校 桂 沙耶香	
		【茨城】 下館第一高校 鈴木未歩	【富山】 魚津高校 早川晃央		【茨城】 下館第一高校 鈴木兼三郎					
共通	特別審査員 小島ゆかり賞		【茨城】 水戸葵陵高校 関根里奈子	【秋田】 秋田高校 清野絵理	【茨城】 下館第一高校 島田瞳	【秋田】 秋田高校 佐々木さんご	【茨城】 下館第一高校 中野 宏美	【茨城】 結城第二高校 大塚 麻耶	【宮城】 小牛田農林高校 安田 佳樹	【神奈川】 横浜翠嵐高校 畑 勇人
	石川 啄木賞		【岩手】 盛岡第二高校 遠藤弓美	【滋賀】 河瀬高校 中村瑞穂	【福岡】 須恵高校 手嶋滯	【宮城】 気仙沼高校 山内夏帆	【宮城】 気仙沼高校 山内 夏帆	【山梨】 甲府南高校 杉本 昌義	【山梨】 甲府南高校 野澤 彩葉	【茨城】 下妻第一高校 坂入 菜月
	話題 作品賞									【北海道】 市立函館高校 春菜 孝明
自由競技 優秀作品賞		白澤夏鈴 勝俣文子 本木成美	森本潔 鈴木さとみ 斎藤真美 勝俣文子							